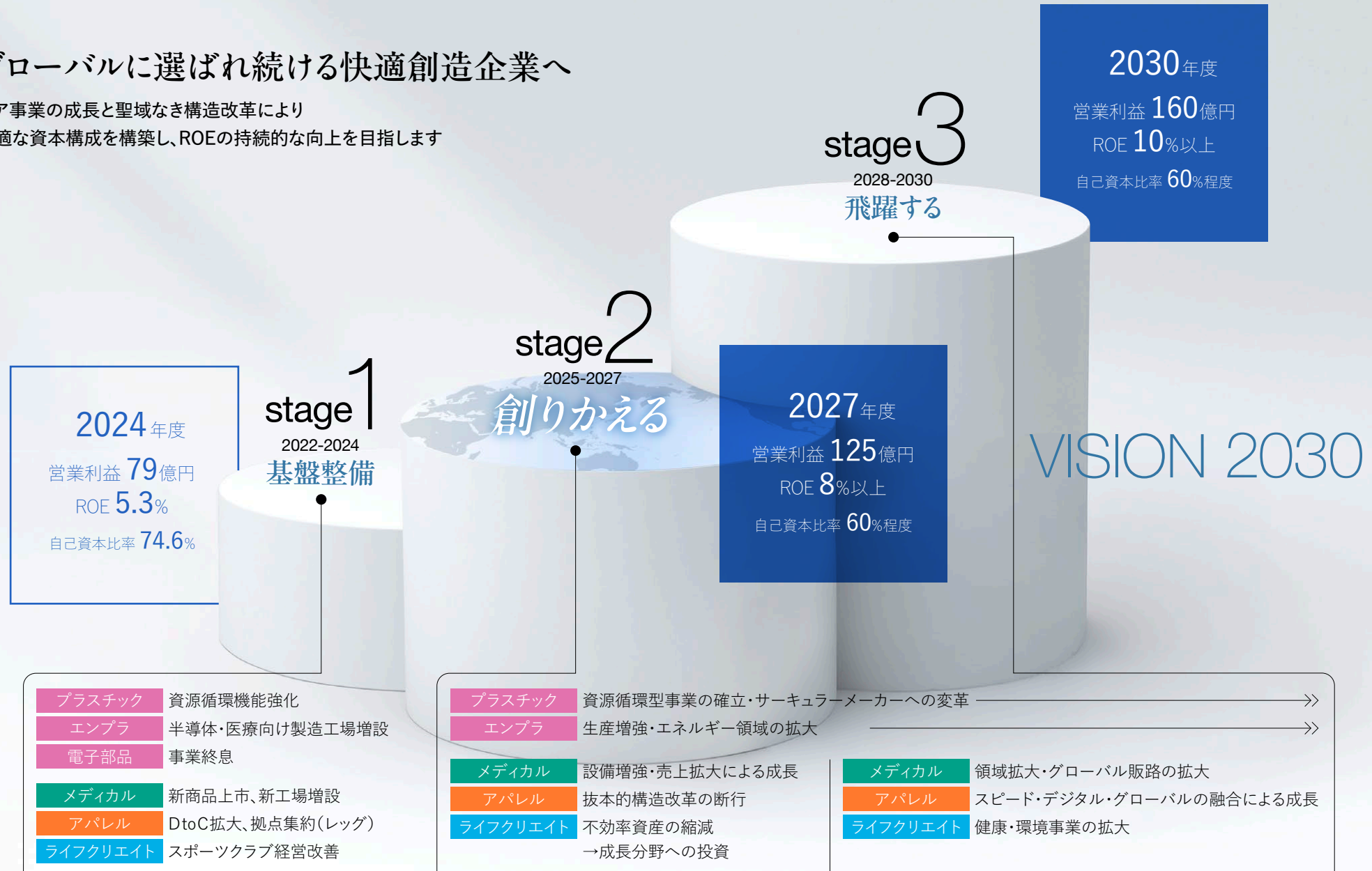


「VISION 2030」のロードマップ

グローバルに選ばれ続ける快適創造企業へ

コア事業の成長と聖域なき構造改革により
最適な資本構成を構築し、ROEの持続的な向上を目指します



「創りかえる」挑戦

構造改革のその先に

グンゼは130年の歴史の中で、時代の変化に向き合いながら事業を育み、挑戦を重ねてきました。事業環境がかつてないスピードで変化する中で、「VISION 2030」では、2030年のありたい姿の実現に向け、3年ごとのテーマを設定し、取り組みを進めています。

「VISION 2030 stage1」では、機能ソリューション事業とメディカル事業を中心に、高付加価値領域で成長基盤を構築してきました。半導体分野や環境関連分野、生体吸収性材料など、社会課題の解決につながる領域で、新たな成長の種をまいてきました。

一方、アパレル事業とライフクリエイティブ事業は、市場縮小や消費行動の変化など、大きな環境変化に直面しています。こうした変化に対応し、持続的な成長を実現するため、グンゼは従来の延長線上にない変革、「創りかえる」挑戦に踏み出しています。

「VISION 2030 stage2」で進める構造改革では、事業構造を見直し、変化に適應できる事業基盤へ転換するとともに、「stage1」で培った強みを活かし、さらなる成長を目指します。

構造改革の先にある、グンゼならではの持続的な成長に向けて

グンゼが130年培ってきた技術は、事業の枠を超えて進化し、資源循環の実現や人々の健康で快適な暮らし(QOL)の向上など、産業や社会に新たな価値を生み出してきました。

一方で、主力事業として会社をけん引してきたアパレル事業の構造改革に取り組むなど、事業ポートフォリオが変わりつつある中、新たなビジョンを追求しています。

これから持続可能な企業として発展するためには、今まで自分たちが大切にしてきた価値を継続するだけでは、時代に取り残されてしまう危機感があります。

世界中のお客さまにとって、なくてはならない存在であり続けるために、もっと変化に敏感になり、適應する力を養わなければなりません。

従業員一人ひとりがさまざまな変化に直面しながらも、成長に向けて常に挑戦していく姿勢が大切だと考えています。

変えるべきものは大胆に変え、守るべき価値は守り抜く。

その変革の積み重ねが、次の時代を支える、新しいグンゼを創る、と確信しています。

目次

イントロダクション

「VISION 2030」のロードマップ	01
構造改革のその先に	02
目次	03
グンゼ統合レポート2026のポイント/情報開示体系	04

1 「こちよさ」を提供し続ける

At a Glance	06
事業ポートフォリオ	07
会長メッセージ	08
社長メッセージ	10

2 グンゼの礎 価値創造のしくみ

価値創造の軌跡	14
コア技術から生まれるグンゼの独自技術	16
価値創造モデル	17
グンゼの強み	18
財務資本と非財務資本のつながり	19
財務資本	20
【特集】DE&I座談会	24
人的資本	25
製造資本	30
知的資本	32
社会関係資本	34
自然資本	36

3 どうやって変わるのか 変革を生むための戦略

リスクと機会・マテリアリティ	42
「VISION 2030 stage1」振り返り	45
「VISION 2030 stage2」進捗	46
【特集】imaGine2055	48
機能ソリューション事業戦略	50
メディカル事業戦略	53
アパレル事業戦略	55
【特集】構造改革の最前線で働く社員の声	56
ライフクリエイティブ事業戦略	57
ステークホルダーエンゲージメント	59

4 コーポレートガバナンス 変わる組織を支える

コーポレートガバナンス	62
代表取締役社長×社外取締役 ガバナンス対談	69
社外監査役メッセージ	73
役員一覧	74

5 コーポレートデータ

財務・非財務ハイライト	77
11カ年連結財務・非財務サマリー	79
MD&A	81
拠点情報	82
会社概要・株式情報	83
外部評価・真正性表明・編集後記	84

編集方針

「グンゼ統合レポート2026」は、グンゼグループの財務情報・非財務情報をお伝えするレポートとして発行しています。編集にあたっては、IFRS財団の「国際統合報告フレームワーク」や、経済産業省が提唱する「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」をはじめとする各種ガイドラインを参考にしました。また、GRI対照表、ISO対照表、TCFD対照表はコーポレートサイトに掲載しています。

報告対象期間：2025年度（2025年4月1日～2026年3月31日）の活動を中心に、2026年4月以降の報告も含まれています。
また、紹介する関係者の所属・役職名は活動当時のものです。

グンゼ統合レポート2026のポイント/情報開示体系

グンゼ統合レポート2026のポイント

1. 新経営体制が描くグンゼの未来像

今年度より、代表取締役会長に佐口敏康、代表取締役社長 兼 社長執行役員に岡高広が就任。新会長・新社長メッセージでは、構造改革後の成長戦略や企業価値向上に向けた方向性を発信。新たな経営体制のもとで目指す、次世代のグンゼ像を示す。

会長メッセージ >>> P08 社長メッセージ >>> P10



2. 130年で培った強みと価値創造の源泉

130年にわたり培ってきた技術を整理し、グンゼの競争優位性の源泉を網羅的に紹介。事業を横断して活用されるコア技術や強みを可視化することで、グンゼならではの価値創造力と持続的成長を支える経営資源を明確化。

コア技術から生まれるグンゼの独自技術 >>> P16 グンゼの強み >>> P18



3. 6つの資本で読み解く企業価値向上

財務資本・非財務資本のつながりを一体的に整理し、6つの資本をベースとした価値創造プロセスを再構築。各資本の強みや課題、事業戦略とのつながりを表現することで、中長期的な企業価値向上への成長の道筋を分かりやすく伝える。

財務資本と非財務資本のつながり >>> P19 6つの資本ページ >>> P20~40



4. 2030年、その先を見据えた未来像

構造改革のその先に、どのように価値を創出し続ける企業を目指すのか。持続的な成長に向けたグンゼの未来像を描く。

構造改革のその先に >>> P02 【特集】imaGine2055 >>> P48

情報開示体系

